

# 令和4年度 豊橋市市民協働推進補助金 事業報告



補助金の種類	団体	事業
つつじ	王寿園サーフィン同好会	津波避難路の整備、海岸保全、避難訓練
つつじ	リバーサイドボランティア (RSB)	豊川河川敷の清掃整備活動
つつじ	特定非営利活動法人 Mix up	助け合い活動
つつじ	ゆた楽な暮らし	あんしん「あんきかるた」
つつじ	高師小僧を愛する会	高師小僧を大切に守り伝えるプロジェクト
つつじ	高師文芸クラブ	“子らとのシニアの！ 高師原文芸”
つつじ	とよはしたはらをきれいにするかい	とよはしたはらをきれいにするかい
つつじ	ママの働き方応援隊豊橋校	赤ちゃん先生プロジェクト
くすのき	駐車場にさざんかの花を咲かせる会	さざんかの花植樹・育成維持管理
くすのき	とよはし☆ロボコンズ	とよはし☆ロボット教室
わかば	花園ぷらす	花園恩返しマルシェ
わかば	ACCOMPANY	SNS 映え間違いなし！バスの MAP
わかば	SD 嬢 s	SOZO De きる子 大集 GO！s
わかば	柳生川の生態系を守る会	地域河川（柳生川）の ビオトープ保全活動
わかば	We can “SOZO” 創造しよう！ -子どもが楽しめる遊びを通して 学ぶ SDGs-サークル	We can “SOZO” 創造しよう！ -子どもが楽しめる遊びを通して 学ぶ SDGs-

#### 市民協働推進補助金について

- ・つつじ補助金 設立後 5 年未満 補助率 10/10 上限 5 万円
- ・くすのき補助金 設立後 2 年以上 1 回目 補助率 2/3 2 回目 補助率 1/2  
3 回目 補助率 1/3 3 回とも上限 30 万円
- ・わかば補助金 若者の活動団体 補助率 10/10 上限原則 10 万円

事業名等	津波避難路の整備、海岸保全、避難訓練
団体名	王寿園サーフィン同好会

項目	内容																																																
事業の概要 (取組みの内容)	<p>表浜海岸は地震の際、津波が数分以内に到達するともいわれている。津波避難路の整備を行い、有事の際に避難できる人を少しでも増やすことを目的とする。</p> <p>いつでも安全に高台まで避難できる環境を維持することで、平時から利用者に避難路の周知が図られるとともに、有事の際には安全な非難ができる。</p> <p>実施日 毎月（第一木曜日） 点検、海岸清掃</p> <table border="0"> <tr> <td>令和4年</td> <td>4月22日</td> <td>草刈り</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5月20日</td> <td>草刈り</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6月15日</td> <td>草刈り</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7月20日</td> <td>草刈り</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月19日</td> <td>草刈り</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9月30日</td> <td>草刈り</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10月28日</td> <td>草刈り</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月16日</td> <td>草刈り</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>令和5年</td> <td>1月27日</td> <td>草刈り</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2月24日</td> <td>草刈り</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3月12日</td> <td>草刈り</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3月24日</td> <td>草刈り</td> <td>5人</td> </tr> </table> <p>総事業費： 61,470円 （内補助金： 50,000円 ）</p>	令和4年	4月22日	草刈り	5人		5月20日	草刈り	4人		6月15日	草刈り	5人		7月20日	草刈り	4人		8月19日	草刈り	5人		9月30日	草刈り	5人		10月28日	草刈り	4人		12月16日	草刈り	5人	令和5年	1月27日	草刈り	4人		2月24日	草刈り	4人		3月12日	草刈り	5人		3月24日	草刈り	5人
令和4年	4月22日	草刈り	5人																																														
	5月20日	草刈り	4人																																														
	6月15日	草刈り	5人																																														
	7月20日	草刈り	4人																																														
	8月19日	草刈り	5人																																														
	9月30日	草刈り	5人																																														
	10月28日	草刈り	4人																																														
	12月16日	草刈り	5人																																														
令和5年	1月27日	草刈り	4人																																														
	2月24日	草刈り	4人																																														
	3月12日	草刈り	5人																																														
	3月24日	草刈り	5人																																														
事業の成果等	<p>今回の事業で購入した草刈り機を使用し草刈り作業を継続して行い津波避難訓練の際に避難路として、活用できた。</p>																																																
今後の見通し	<p>津波避難路が山の中にあるので逐一手入れが必要 →今後も継続管理をしていく。</p> <p>災害時に津波避難路を忘れずに使用してもらうようにする →避難路を遊歩道や見晴台として活用してもらうよう整備する。</p> <p>参加メンバーが少なく高齢化している →参加メンバーを増やし、次世代へ活動を継承していく。</p>																																																

様子の分かる写真及び説明



草刈りの様子



海岸清掃 堆積してしまった砂をかきだしている様子



草刈り後、ベンチが使いやすくなった。

事業名等	豊川河川敷の清掃整備活動
団体名	リバーサイドボランティア (RSB)

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>豊川河川敷は長年未活用、未整備の状況であり、ゴミの不法投棄、樹木の巨大化、タバコ投げ捨てによる火災発生等の結果、遊歩道も寸断され景観・環境も悪化していました。</p> <p>解決策として、ボランティアでの清掃活動をすることで、樹木整備、遊歩道整備され景観・環境の良化を実施しました。</p> <p>河川内遊歩道環境整備することで、地域住民のまちづくり意識の向上、健康面での遊歩道活用が出来、結果として市の健保財政面への寄与も図れると考えました。</p> <p>参加者に北部中学校の中学生ボランティアを募集することで、初めての地域社会貢献への参加が図られ、地域に根付く意識の向上を図りました。</p> <p>また地元消防団、防災組織が訓練場所として小学校活用していて、周辺からの騒音苦情がある現状を解決するため、豊川河川敷を整備して訓練場所として使ってもらえるように考えました。</p> <p>総事業費： 112,775円 (内補助金： 50,000円)</p>
事業の成果等	<p>清掃活動する中で、景観・環境の良化を図ることが出来ました。</p> <p>また令和3年度に市と結んだ豊川アダプト制度により国交省河川敷樹木伐採、取り付け道路設置有効活用する計画を実施することとなり、その後の清掃整備についてRSBが担うことになりました。</p> <p>町内回覧、市民館ポスター掲示、中学生ボランティア募集、自治会との連携を行うことで年間参加者は前年から53人増加、結果として年間12回208人のボランティア参加者がありました</p> <p>中学生ボランティアは校長、教頭の協力を得て73人が参加しました。その内積極的に参加をしてくれた8人を自治会・RSBで表彰し感謝を伝えました。</p> <p>地元消防団訓練活用、国交省防災訓練活用が決定しました。</p>
今後の見通し	<p>今後もアダプト制度に基づき国交省の支援も受けながら地道に清掃活動を維持し、町内の参加者増加を図りながら保護者同伴の小学生ボランティア参加も図っていき、中学生も含めた若年層の参加増加を図り、積極的な継続性維持に取り組んでいきたいと思います。</p> <p>また、河川敷の有効活用については、消防団訓練、国交省防災訓練以外の地元防災組織訓練、小学校授業活用等も考えられ、河川敷全体の清掃整備も考え活動して行きます。</p>

様子のわかる写真および説明

活動の様子

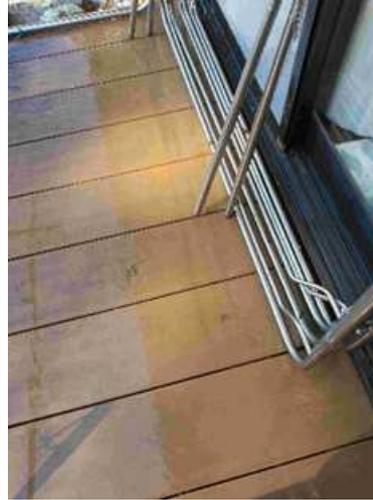
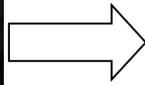


事業名等	助け合い活動
団体名	特定非営利活動法人 Mix up

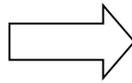
項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>ヘルパーさんでは制限があってできない日常的な困りごとを解決するために、地域包括支援センター、ケアマネージャー、生活支援コーディネーターなどと連携し、高齢者などの困りごとをお手伝いした。</p> <p>空き時間の有効活用や充実感を求めるあらゆる世代の市民の要求に応え、同時にスポット的にお手伝いが必要になる企業や個人事業主に対して、必要人材をマッチングした。</p> <p>反省点：宣伝・説明をしても周知までにはなかなか至らず、新規顧客の獲得ができなかった。また、人材を必要とする企業等もなかなか見つからず、解決策として、ご利用くださった企業に紹介をしてもらえよう話をした。</p> <p>人材の必要な側と、お手伝いする側の日程調整も難しかった。</p> <p>総事業費： 529,815 円 (内補助金： 50,000 円)</p>
事業の成果等	<p>地域包括支援センターやケアマネージャーの紹介により、高齢者の日常的な困りごと（草取りや買い物手伝い等公的サービスで対応の難しい事）を解決することができ、依頼者からはヘルパーさんでは制限があってできない部分をやってもらって助かったとの声をいただいた。</p> <p>企業や個人事業主向けには、一時的な必要人材をマッチングすることで人手不足を解決した。</p> <p>市役所等で Mix up の活動をパネル展示として掲示してもらったことで、社会資源の一つとして認知を広げることができた。</p>
今後の見通し	<p>新規顧客開拓を獲得し、地域包括支援センターなどと連携するために、更に宣伝・説明を継続し、この活動をより活発にしていきたい。</p> <p>柔軟な人材のマッチングのためにも、企業や個人事業主を増やすとともに、支援側の会員を増やすことにも力を入れたい。</p>

様子のわかる写真および説明

窓、デッキ掃除の様子



買い物支援



お風呂掃除の様子

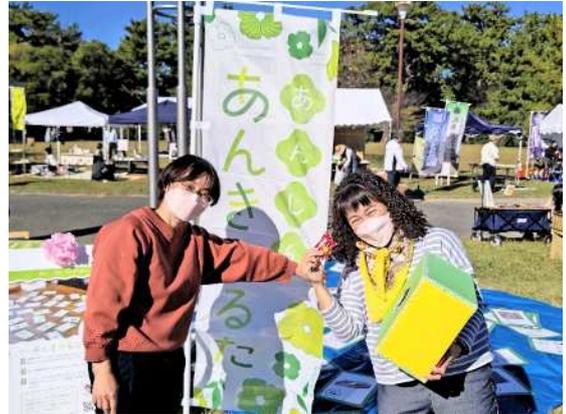


事業名等	あんしん「あんきかるた」
団体名	ゆた楽な暮らし

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>幅広い世代で気軽に楽しめる「かるた」を使い、終活の第一歩を踏み出しやすくする活動を行っています。</p> <p>令和4年11月6日(日) 9時30分～16時 豊橋市高師緑地公園にて開催された 【とよはし太陽と緑の文化祭】にて出店 かるたを A3 サイズに大きくして高齢者から孫まで一緒に体験できるようにして開催しました。</p> <p>「あんきかるた」体験人数 約 60 名</p> <p>総事業費： 51,503 円 (内補助金： 50,000 円)</p>
事業の成果等	<p>A3 サイズのジャンボかるたにしたことで、高齢者から孫まで一緒に楽しんでもらえ、片付けや終活の話をするきっかけにも繋がったと思います。</p> <p>【体験者の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみながら片付けや終活のことを考えるきっかけになりました</li> <li>・こんな大きな「かるた」はなかなかできないので楽しかった</li> <li>・シンプルでわかりやすい</li> <li>・実家の母親にも体験させたい</li> <li>・子どもは楽しめて、高齢者は自分のことのように気づきがたくさんありました。</li> </ul>
今後の見通し	<p>「片付け」「生前整理」「終活」など大切だとわかっていても面倒で後回しにしてしまいがち。 高齢や認知症になってからでは、家族に迷惑もかけるしあのときやっておけば良かったとならないように早めに取り組む大切さを、「あんきかるた」を使い、どう伝えていくかが今後の課題です。</p> <p>現在の活動を継続しながら、市内地区市民館で活動する高齢者自主グループ・図書館利用者・高齢者福祉施設など、かるた体験場所を増やしていく予定です。</p> <p>「高齢者がいつまでも健やかに、楽しく・安全・あんきに暮らせる街 豊橋」をテーマに終活の大切さと認知症予防に効果があることを広めていきます。今後も A3 サイズのジャンボかるたを使い高齢者から孫世代まで一緒に楽しめるよう活用していきたい。</p>

様子のわかる写真および説明

令和4年11月6日(日)【とよはし太陽と緑の文化祭】にて



事業名等	高師小僧を大切に守り伝えるプロジェクト
団体名	高師小僧を愛する会

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>高師台地区市民館開館当時（昭和56年）から展示してあった高師小僧（愛知県の天然記念物）の保存状態や展示の仕方が悪かったため、展示方法を工夫した。</p> <p>工夫内容は、高師小僧の下に黒い布を敷いたり、一番下の棚を斜めにして見やすくしたりした。また、高師小僧の理解のため紹介パネルやリーフレット（2,000部）を作成した。</p> <p>総事業費： 50,001円（内補助金：50,000円）</p>
事業の成果等	<p>高師小僧の展示棚をきれいに整えたり、紹介パネルを掲示したりしたことにより、今まで素通りだった来館者の方々が足を止めてくれるようになった。小学校の授業で、作成したリーフレットを使用して、高師小僧の学習を行ってくれるようになった。</p>
今後の見通し	<p>今回はリーフレットを2000部作成したが、なくなった場合の追加をどうするか検討中。数年後、またくすのき補助金に応募することも考えている。啓発としては、ホームページ等でリーフレットを紹介していくことも考えている。</p> <p>展示棚が40年ほど前のものであるため、新しい棚の購入も考えている。</p>

様子のわかる写真および説明

高師小僧の展示コーナー  
上：高師小僧の紹介パネル  
下：高師小僧の展示



作成したリーフレット（パンフレット）2000部



事業名等	子らとシニアの！ 高師原文芸
団体名	高師文芸クラブ

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>地域の子どもたちの俳句学習の支援と、シニア層が子どもたちへの支援を通じて新鮮な感受性などを学ぶ良い関係を築くことを目的として事業を実施。</p> <p><b>(1)新聞発行 「高師原文芸」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7号 10月上旬(予定9月下旬)〔Aの部(子ら)〕「高師小」夏休み自由課題、〔Bの部(シニア)〕作品掲載。</li> <li>・第8号 11月下旬、(Aの部)「本郷中」夏休み自由課題(予定第7号)、〔Bの部〕作品掲載。</li> <li>・第9号2月中旬、〔Aの部〕作品掲載記念「缶バッジ」の紹介、〔Bの部〕作品を掲載。</li> <li>・第10号3月中旬発行、〔Aの部)「高師原文芸賞(俳句)」の受賞作品、氏名を発表。シニア短歌クラブ作品など。</li> </ul> <p>※発行部数、約1,100。配付、小・中学、地域校・地区市民館、他</p> <p><b>(2)掲載記念・表彰</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「掲載記念」〔Aの部〕新聞載記念品として「缶バッジ」を選定。デザインは本郷中学美術部に依頼、日本画的な4案が示され児童生徒から希望を聴き作製、配付した。</li> <li>・「表彰」新聞掲載作品から、〔Aの部、俳句〕年間優秀作品を「高師原文芸賞」として選考、高師小・本郷中学各13名に賞状と副賞(文房具)を授与した。</li> </ul> <p><b>(3)教材用パンフ等の印刷</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やさしい俳句教室」(子供用、補助教材冊子)、新聞に連載中の記事を中心に編集、途中頁減の作業を経て発行した。600部、高師小、本郷中学を中心に配付。また、地域の校区・地区市民館に展示、可能な限り希望者に配付。</li> </ul> <p>総事業費：113,466 円 (内補助金：50,000 円)</p>
事業の成果等	<p>○本会は、「規約」に子らとシニアの文芸活動を通して、「地域社会に新たな文化的土壌と活力を育てる」ことを目指す旨謳っている。</p> <p>○コロナ禍のため、特にシニア層を対象とした事業は、十分な活動ができなかったが、“子ら文芸活動”の方は、本年度、補助金対象事業を実施したことにより、地域への浸透を図り、“土壌形成”のための第一段階を、曲りなりにも実現できたのでは、と考えられます。</p>
今後の見通し	<p>○<b>子らの文芸活動</b></p> <p>現在、小学校は主として高師小学校を対象として活動しているが、役員などの補充ができれば、芦原小学校、幸小学校を加え3校とするよう検討したい。なお、中学校は、学校単位の案内を取り止め、個々の生徒の任意な応募方式といたしたい。</p> <p>○<b>シニア層、文芸活動</b></p> <p>本年度前半の活動のなか、「俳句講座」を2会場で行ったが十分な成果を上げられなかった。次年度は、「定例会」内容検討のなかで例えば気楽な「句会」を行うなど、シニアの作品応募が増える方策について検討したい。</p>

様子のわかる写真および説明

子らとシニアの / 高師原文芸

発行 令和4(2022)年8月  
巻 7 号 (再印刷)  
発行所 高師文芸クラブ  
〒7 46-8600 高師 文芸  
編集 高師プロジェクト  
三島 (46-9200)

あなたも私も小さな「芭蕉さん」 /  
— 令和4年度(22)年度、夏休み自由課題、作品「俳句」の発表 —  
高師小学校

俳句を読んで(感想)  
鈴木 昌宏 (審査の先生)

高師小学校の皆さん、今年の夏休みはコロナと暑日の暑さで大変な夏でしたが、楽しめましたか。  
皆さんの俳句を読んで気がついたことを述べてみます。「分かりきったあたり前のことや、うれしい、悲しい」などの言葉は、俳句の世界では表現しないでください。私たちの身の回りにほろ「あれ？」と思うことがたくさんあります。  
1頁1つそれを見のがさずに俳句に作りましょう。  
つぎは、今回、私が一番いいと思った句です。

○ ペランダの 風がすずしい 祖母の家 (5年、西尾美穂)

俳句は、だれでもできる！  
はやくおうちのパンフ『やさしい俳句教室』  
おって皆さんに配付します。  
ぜひ読んでください。

4年生

○ 虫歯を ひやけ感じる 夏の音 榎本 雅哉  
○ キレイだな 大きな花火 ひさしぶり 森政 愛理  
○ そびえたつ 富士山みたい かき氷 山崎 大悠

5年生

○ ペランダの 風がすずしい 祖母の家 西尾 美穂  
○ 楽しさが 3年分の 夏祭り 東 航乃  
○ 夏祭り 射的でパンと 肉巻れ 八幡 洗哉

俳句は、誰でもできる  
「やさしい俳句教室」

あなたも私も、小さな芭蕉さん！  
四時(四季)を愛とする！  
HAKU —The four seasons of life!  
(本クラブの「俳句」キャッチフレーズ)

芭蕉の詩  
三才よ 田端  
三才よ 田端

三才の童に  
俳諧は

(注) 土方著『三才子』(芭蕉の言葉)より。「俳諧」は俳句のこと。「三才の童」は、小学校中学年くらい。意味「大人になるとうまく作ろうとする気持ちはなくなる。子供が作る句を見習いなさい」の意。 西村氏、本会の講師。  
明るく 楽しく 前向きに！  
高師文芸クラブ

「高師原文芸」第7号

「やさしい俳句教室」(子供用、補助教材冊子)

「高師原文芸(第9号)」記事の補足、掲示資料

高師文芸クラブ

『缶バッジ』カラー写真 — “子ら” 作品(俳句)の掲載記念 —

詩情 A 「愚業の子」



詩情 B 「月の庭」



詩情 C 「四季の花」



詩情 D 「花衣」



記念品「缶バッジ」

事業名等	とよはしたはらをきれいにするかい
団体名	とよはしたはらをきれいにするかい

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>道路、歩道にあふれるゴミを拾い美しいまちを作ることを目的に地域で清掃活動を実施。</p> <p>令和4年8月1日以降週1回のペースで事業を行ってきた。</p> <p>毎週、天気等を考えながら出来る限り午前中に行った。</p> <p>回数は約36回。最終は令和5年3月30日</p> <p>取組の内容としては、主にR259沿い天津南の交差点にあるミニストップ付近から三河港大橋東に抜ける沿道が、汚れがひどく月に1、2回行ってきた。</p> <p>あと、杉山駅周辺は代表が気づいた時、出来る限り拾うようにした。そして杉山南の交差点から踏切り付近も行った。</p> <p>田原方面は主に白谷交差点付近を中心実施した。</p> <p>総事業費：49,601円（内補助金：29,000円）</p>
事業の成果等	<p>続けることで、沿道の美観が保たれたと思う。</p> <p>また、多少はゴミの投棄をする量が減ったと思う。</p>
今後の見通し	<p>今後は、今回予定していたが実施できなかった「不法投棄を防止する看板」を作成、設置をしてその検証をしたい。</p> <p>あとは、この取組のエリア拡大が重要だが、そのためには今の人員では厳しいと感じるため、人員増加を目指す。</p>

様子のわかる写真および説明



活動の様子①



活動の様子②

事業名等	赤ちゃん先生プロジェクト
団体名	ママの働き方応援隊豊橋校

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>豊橋市立吉田方小学校で、いのちの授業の一環として【赤ちゃん先生プロジェクト】を初めて開催した。1学年ずつ6日間に分けて実施、1学年あたり16～17組の赤ちゃんと母親が参加した。グループに分かれて担当の赤ちゃんについて母親から必要なお世話について話を聞いて、実際にだっこするなどして大きさやあたたかさを体感し、赤ちゃんと自分自身の成長について学んだ。</p> <p>参加児童数 810名 参加講師数(赤ちゃんと母親) 合計100組 (当初講師は50組の予定であったが、コロナウイルス感染症流行により密を避けるために、1教室2組の母親と赤ちゃんで担当予定だったのを1教室分の生徒を2教室に分けたため50組×2=100組となった)</p> <p>総事業費：200,000円 (内補助金：50,000円)</p>
事業の成果等	<p>何度も訪問することができたので、母子ともにたくさんの人に会うことでコミュニケーションスキルの向上と社会参加していることを実感し、イキイキと活躍する姿を見ることができた。</p> <p>また、次はこうしたい、このように伝えたい、という向上心と高い意識を持って挑む姿が見られた。子育てだけでは得られない母親の活躍の場を創出することができた。</p> <p>赤ちゃんたちが楽しく遊ぶ姿、眠くてぐずる姿など、普段に近い様子を体験してもらえたこと、児童からは「自分にもこんな時があったんだ。親に感謝しようと思った」などの感想があがった。先生方からは、「普段は見られない表情の児童が多く驚いた。通常の授業で目立つ子とおとなしい子が逆転するクラスもあり、とても興味深い。まだまだ小さいと思っていたが、赤ちゃんに何かしてあげたいという想いが見られて感動した」などのお話があった。</p> <p>1人では何もできない赤ちゃんを前に、児童の皆さん自身が自分たちで考えて行動するという成長がみられる素晴らしい時間になった。</p>
今後の見通し	<p>今後も行政や企業と連携し、いずれは市内すべての小学校で授業ができる仕組みを構築していきたいと考えている。この活動が地域の母子の活躍の場となり、自分の子育て経験が【スキル】として社会に貢献している！と自信を持って暮らせる街にしたい。</p> <p>吉田方小学校では、校長先生から来年もぜひお願いしたいとお話をいただいた。</p> <p>今年の実績を来年度の開催資金調達に役立てていきたい。授業の様子を新聞に掲載していただき、ひろく認知していただくことができたのも非常にありがたい。</p> <p>開催が寒い時期に集中してしまったので、来年度はもっと余裕をもって進めさせていただけるように学校側と打ち合わせしていきたい。</p>

様子のわかる写真および説明

赤ちゃん先生プロジェクトの様子



事業名等	さざんかの花植樹・育成維持管理
団体名	駐車場にさざんかの花を咲かせる会

項目	内容												
事業の概要 (取組みの内容)	<p>地域の校区市民館の駐車場へさざんかの苗を植樹し、緑のある親しみやすい駐車場にするため事業を実施。</p> <p>今回がくすのき補助金 3 回目の申請となり前回までに180本植樹済のさざんかを残りの箇所に70本植樹し今回植樹作業は終了。</p> <p>今後は自治会にて維持管理の移行する方向で進める。</p> <p>校区市民館北駐車場に70本植樹</p> <table border="0"> <tr> <td>10月</td> <td>校区自治会との合同草刈り</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>植樹前準備(コンボ穴堀り)</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>植樹</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>11月～</td> <td>適宜剪定・消毒実施</td> <td>若干名</td> </tr> </table> <p>総事業費：120,002円(内補助金：120,000円)</p>	10月	校区自治会との合同草刈り	15名	10月	植樹前準備(コンボ穴堀り)	5名	11月	植樹	8名	11月～	適宜剪定・消毒実施	若干名
10月	校区自治会との合同草刈り	15名											
10月	植樹前準備(コンボ穴堀り)	5名											
11月	植樹	8名											
11月～	適宜剪定・消毒実施	若干名											
事業の成果等	<p>今回70本植樹にて植樹作業は終了と致しました。</p> <p>添付写真の様に駐車場の、左右と突き当りに合計250本のさざんか垣根が出来たことにより、駐車場の景観及び利用やすさが大いに向上しました。</p> <p>また、3回にわたる植樹・維持管理(草刈りメイン)作業を高齢者中心に実施できました。</p> <p>今後、校区自治会に移行するにあたり話が進めやすくなりました。</p>												
今後の見通し	<p>今後の維持管理が不透明な状態で滞れば、元の雑草にまみれた空地に戻ってしまうことは確実で、維持管理をどうするのか?が問題となっていた。</p> <p>校区自治会の要望もあり、新しく『北駐車場保全会』を高齢者中心メンバーとして、発足が決まりました。(10名程)</p> <p>これにより、維持管理を継続することが出来ることとなりました。</p>												

様子のわかる写真および説明

ユンボ穴掘り工事



仮置き



正規位置設置



土寄せ



除草シート張り



除草シート張り完了



紫陽花植樹(裏側)



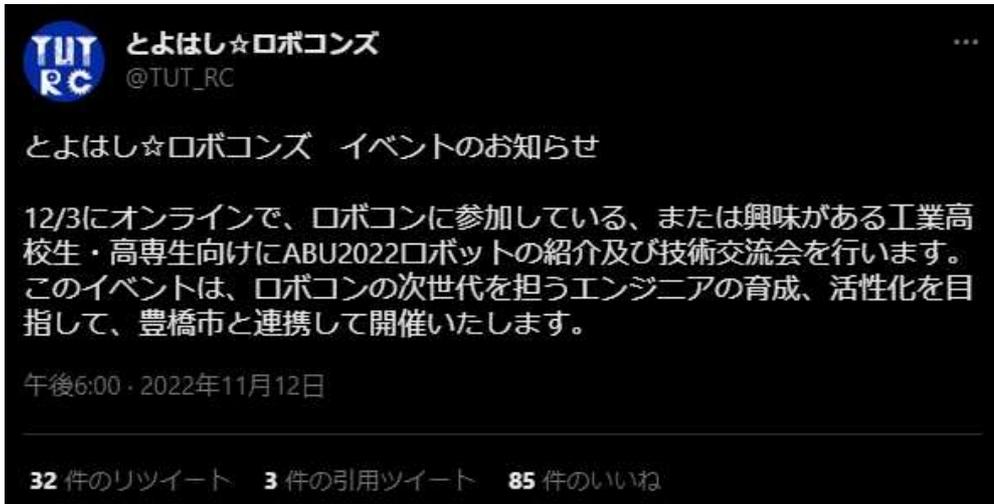
開花



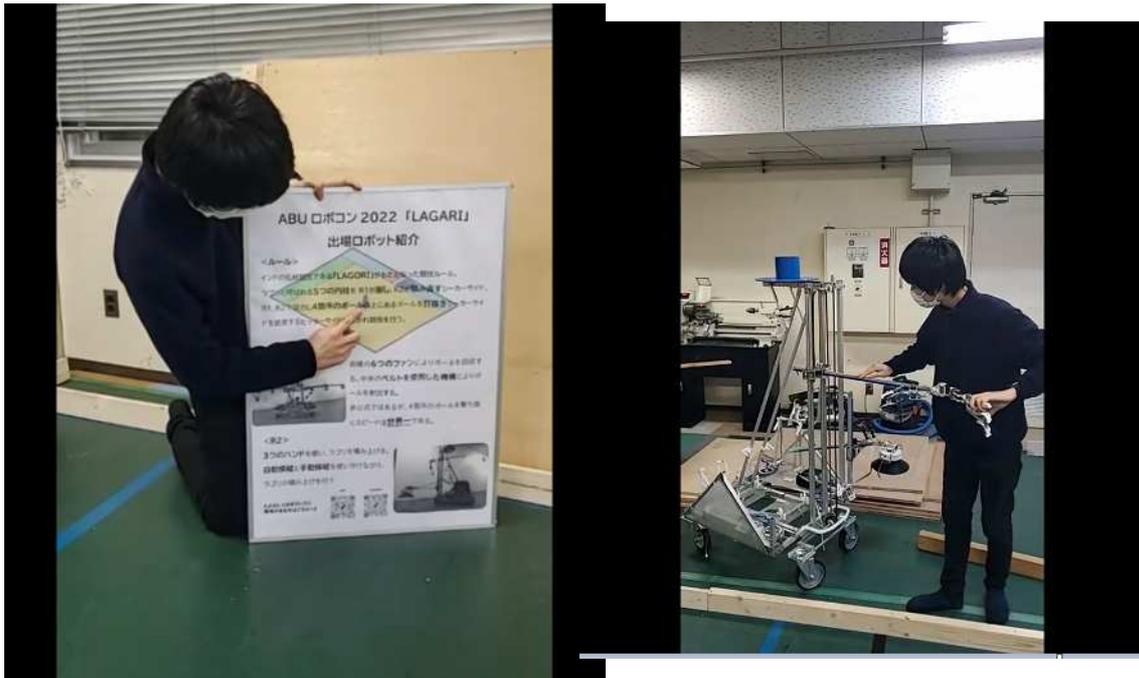
事業名等	とよはし☆ロボット教室
団体名	とよはし☆ロボコンズ

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>プログラミングなど技術分野に興味を持つ子どもたちとの交流を図り、論理的思考能力を育むため、弊団体が参加している大会である「学生ロボコン」「ABU ロボコン」に出場したロボットを用い、オンラインイベントを行った。</p> <p>事業費は本来解体される予定のロボットの保存に使用した。</p> <p>イベント詳細</p> <p>開催方式：オンライン（Discord） 開催日：令和4年12月3日 参加者数：約50名 内容：ロボットの開発に携わった学生によるロボット紹介 イベント参加者からの質問への回答 ロボットやものづくりに関してのセッション</p> <p>総事業費：482,492円（内補助金：300,000円）</p>
事業の成果等	<p>イベント時に普段は経年劣化、消耗により使用できない部品が多いロボットを事業費により稼働する状態で保存することが出来たため、実際に稼働させながら説明することが可能となり、参加者の満足度を上げることが出来た。</p> <p>本イベントを開催することにより、ものづくりに関心がある学生の疑問を解消し、将来の技術者育成に貢献できた。</p> <p>また、参加者とのパイプを作ることで、子供、親、学生のニーズ等を知ることができ今後のイベントに活かすことができると考える。</p>
今後の見通し	<p>今回イベントを開催することで得られたイベント参加者の年齢層やニーズにもとづいて今後の事業を計画し、より良い事業にしていきたいと考える。</p> <p>今回の事業ではオンラインでのイベントのみだったため、オフラインのイベントも主催していきたいと考える。</p>

様子のわかる写真および説明



SNS でのイベント告知



ロボットの説明を行っている様子

事業名等	花園恩返しマルシェ
団体名	花園ぷらす

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>開催日：11月26日(土)                      時間：11時～16時                      場所：花園商店街                      参加人数：約100人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花園商店街の賑わい創造や販売促進のため、また花園商店街の魅力や温かさの周知の場を作り恩返しをするため、豊橋にちなんだ企業や団体、愛知大学学生地域貢献事業の他団体を招きマルシェを開催。</li> <li>同時に、短い期間でも形として思い出を残せるように花園商店街の再開発に伴って閉店する店舗の一部シャッターを利用したお絵かきイベントも開催。</li> <li>花園商店街内にある施設（HANACOYA）にてビブリオバトル等のステージ発表も行った。</li> </ul> <p>《出店者》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雑貨&amp;カフェ Cha-min / 社会福祉法人 ワークス岩西 / NPO 法人てらみるフル（愛知大学 学生地域貢献事業） / ぷー・ふー・うー（愛知大学 学生地域貢献事業） / ヤマサちくわ / もしも（お弁当）</li> </ul> <p>《ステージ発表》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビブリオバトル（ビブリオ倶楽部）・ウクレレ発表（堀内佳子様）</li> <li>五輪トーチトーク&amp;撮影会（清川哲央様）・トヨッキー（着ぐるみの借用）</li> </ul> <p style="text-align: right;">総事業費： 101,422 円 （内補助金： 61,000 円）</p>
事業の成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>花園ぷらす団員だけでなく、豊橋にちなんだ企業や団体などを招き多くの関わり合いのある「花園恩返しマルシェ」を行ったことで、運営として参加して頂いた企業や団体の方々やイベントの来街者など、多くの方々に花園商店街の魅力や温かさを知っていただくことができた。</li> <li>花園商店街の魅力と温かさの発信だけでなく、ブース出店者の直接的な販売促進や宣伝効果にも繋げることができた。結果として豊橋のまち全体の賑わい創造にも繋がるようなイベントを実現することができた。</li> </ul>

今後の見通し

- イベント実施後は、イベント当日の様子を SNS を用いて発信した。また、運営として関わって頂いた方々等からコメントを頂き、振り返りも行った。
- 花園商店街が再開発地域となり工事が始まる影響で、花園ぶらすの活動は今年度で最後となる。工事が終わり、新しい姿となった花園商店街と再び賑わい創造を行う機会をつくることのできるのであれば、愛知大学学生地域貢献事業の後輩に引き継ぎたい。

様子のわかる写真および説明



↑ テーマ「花園に笑顔の花畑を作ろう」に沿って運営と来街者と共に描きあげた作品



↑ 描いている様子



↑ 愛知大学 学生地域貢献事業 (ぶー・ふー・うー)



↑ 新商品の試食販売の様子 (ヤマサちくわ)



↑ パンや自主製品の販売 (ワークス岩西)



↑ 回員がトヨッキーに変身し、会場を盛り上げた



↑ ウクレレ de 一緒に楽しもう



↑ ビブリオバトルの様子

令和4年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート わかば

事業名等	SNS 映え間違いなし！バスの MAP
団体名	ACCOMPANY

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>豊橋市の様々な方面にバスが走っていることを知ってもらいたいため事業を実施しました。</p> <p>全ての路線図を把握している人は少ないと思われるため、作成するバスマップを機に、豊鉄バスを知ってもらい、利用促進につなげます。さらに若者が注目したバス停付近の店舗を訪れてもらい、魅力・食べ物の美味しさを届けたいです。</p> <p>豊鉄バスの利用者を増やすためにバスマップを制作 若い人に手に取ってもらいたいため、デザインを華やかに工夫</p> <p style="text-align: right;">総事業費：90,912円（内補助金：90,000円）</p>
事業の成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公共交通機関の利用促進のためのバスマップを作成しました。</li> <li>• 若者をターゲットとし若者目線で手作り感にこだわったマップができました。</li> <li>• 完成品は写真の通りです。市役所、豊鉄バス株式会社の豊橋駅案内所などにて配布予定ですのでぜひ手に取ってください。</li> <li>• マップに対しての市民や学生等の反応を拝見し、喜んでいる顔を見ることができました。飲食店を知る機会にもなり、来店する顧客数の増加を望んでいます。</li> </ul>
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ウォーキングイベントや豊橋市内のイベントに参加し、マップを配布します。</li> </ul>

様子のわかる写真および説明



制作したバスマップ(表)



制作したバスマップ(裏)

令和4年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート わかば

事業名等	SOZO Deきる子 大集GO!s
団体名	SD嬢s

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SDGsを若い人達に知ってもらうきっかけ作りのため事業を実施。</li> <li>• 豊橋SDGsすごろくを作成し、多くの人に体験してもらう。</li> <li>• InstagramでSDGsについて発信。</li> </ul> <p>【SDGsに関するイベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SDGsフェス「豊橋SDGsすごろく」体験</li> </ul> <p>日時：11月12日(土)、13日(日) 10:00~15:00                  場所：こども未来館ココニコ                  参加者数：58人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 体験型豊橋SDGsリアルすごろくイベント</li> </ul> <p>日時：2月18日(土) 10:00~15:00                  場所：まちなか図書館                  参加者数：37名</p> <p style="text-align: center;">総事業費：100,376円 (内補助金：100,000円)</p>
事業の成果等	<p>開催した2つのイベントにより、どんなことがSDGsに繋がるかを沢山の方に考えてもらえるきっかけ作りができた。</p> <p>SDGsというと堅いイメージを持つ人が多いが、ゲームを通して学ぶことによって、身近なものだと感じてもらったのではないかと感じた。</p> <p>また、豊橋市や豊橋市の企業が実際に取り組んでいるSDGsの取り組みを取り扱ったことで、豊橋市の魅力発信にもつながった。</p> <p>イベントに参加した方だけではなく、すごろくを作成したSD嬢sのメンバーを同様にSDGsについての知識が以前より増えたと実感している。</p>
今後の見通し	<p>まちなか図書館でのイベント開催時に市役所の市民協働推進課様をはじめ、SDGsに関係部署でもあるゼロカーボンシティ課様、まちなか活性課様もご参加くださり興味を持ってくださった。</p> <p>また今回ご協力いただいた国際交流協会の方も同様であった。まちなか活性課様、国際交流協会様、また今回場所を提供してくださったemキャンパススタジオのサーラコーポレーション様からも次年度も水上ビルなど場所を変えての開催や対象を変えての開催のご要望をいただいた。今回のメンバーは大学を卒業するため、活動は後輩たちへとつないでいく。</p> <p>今回のメンバーは引き続きInstagramでの発信を続けていく。また企業のSDGsの取り組みの紹介は今後Instagramでの発信を続けていきたい。</p> <p>なお、今回作成したすごろくはダウンロード版を作成し、学校や家庭で広く楽しんでいただけるようにしていきたい。</p>

## 様子のわかる写真および説明

### SDGsフェス（ココニコ）



豊橋市主催の SDGs フェスではこども未来館ココニコで豊橋SDGsすごろくをお子さんたち来場者に体験していただいた。

実際に行っていたアンケートをもとにすごろくの改善を行った。参加賞としてお菓子とSD嬢sのシール、風船を配布した。

## SDGs イベント（まちなか図書館・国際交流協会・em キャンパススタジオ）



体験型 SDGs すごろくをまちなか図書館をスタートとして行った。

途中、国際交流協会外国人の方とのコミュニケーションを楽しむミッションをクリアした後、サーラコーポレーションの em キャンパススタジオですごろくの後半を行いゴールのまちなか図書館へ戻るというイベントで参加者は予定人数を上回った。

参加賞としてオリジナルエコバッグをプレゼントし、昨年「勝手にまちなか図書館応援隊」でのイベントで人気だった「エコバッグにお絵かきワーク」も希望者には行ってもらったところ、お子さんたちにはとても好評だった。



今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"><li>• 今年度、境橋から水車橋間を中心に区間を限定して活動に取り組んだ。下流方向、柳生橋や旧柳生橋、小池橋付近は水深が浅く、アカミミガメの生活に適した環境となっているため、活動場所を広げていきたい。</li><li>• 防除活動のため、罾を仕掛けたところ、効果が見られたため、今後も計画的に活動するとともに全体的に生息する生物についてのリサーチを進めていきたい。</li><li>• 令和5年6月よりアメリカザリガニとアカミミガメが特定外来種に指定されることで、その取扱いについて啓発が必要となってきたため、地域のみなさんへの啓発活動に取り組みたい。</li></ul>
--------	---

様子のわかる写真および説明

生物調査の様子



2022/8/22



2022/10/24



柳生川で見られる水生生物



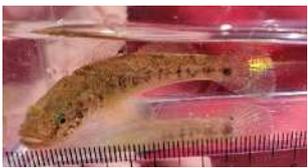
ボラ



モツゴ



タモロコ (上)



カワヨシノボリ



ミナミヌマエビ



モクスガニ



ニホンイシガメ



ウナギ



ウシガエル (オマザ ャツ)



アメリカザリガニ



ライギョ



ミシシippアカミミガメ  
清掃活動の様子



カダヤシ



メダカ (改良種)  
アカミミガメ防除活動の様子



2022/8/10



2023/3/14



2023/3/23

事業名等	We can “SOZO” 創造しよう！ -子どもが楽しめる遊びを通して学ぶ SDGs-
団体名	We can “SOZO” 創造しよう！ -子どもが楽しめる遊びを通して学ぶ SDGs-サークル

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>市内の子どもたちに、遊びを通してSDGsを学んでもらうことで人口が減少している豊橋を盛り上げ、発展させていくことを目的として事業を実施しました。</p> <p>【イベント内容】 親子で遊びを通して、SDGsにふれていきます。手作りのSDGsかるたや豊橋市名産の野菜を題材にした食育活動や、手作り楽器を使って音遊びを楽しみます。</p> <p>12月17日 まちなか図書館 参加者 親子30名 2月23日 ココニコ広場 参加者 親子26名</p> <p>3月14日 大学のイベントにて団体のInstagramを見て今回使用した保育教材に興味を示してくれた方へ保育教材を配布。</p> <p>【かるたの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かるたは一人で遊ぶのが難しい遊びなので、保護者の方や友達など、“人と繋がることのできる保育教材”としてかるたを選びました。</li> <li>・SDGsの17の項目をユニセフ協会の169のターゲットをはじめとする、様々な文献を参考にし、子どもにどう伝えたら、理解してもらえるかについて、幼児教育・保育科の学びを活かしたディスカッションをプロジェクトチームのメンバーと重ね合い、様々な表現を提案・工夫しながら、プロジェクトリーダーとして代表が、最終的に活動方法の全容をまとめました。</li> <li>・またかるたを行う上で、子どもがカルタのイラストに興味を示し、お家の方が子どもに分かりやすくSDGsを伝えられるきっかけとなるよう思いを込めて作りました。</li> <li>・SDGsを子どもに伝えようと思い様々な文献を参考に読んでいましたが、はじめは大変苦戦しました。</li> <li>・小学生なら理解できるけど、幼児には難しい言葉をどう伝えるか、どう言い換えるかたくさん考えました。</li> <li>・今回のイベントを通して、伝え方や表現を工夫することでしっかり内容だけでなく思いまで伝えることができると分かりました。今回のイベントを通して、より良い豊橋市になるため、子どもたちの行動が変わるきっかけになってくれたら嬉しいなと思います。</li> </ul> <p>総事業費： 58,927円 （内補助金： 58,000円）</p>

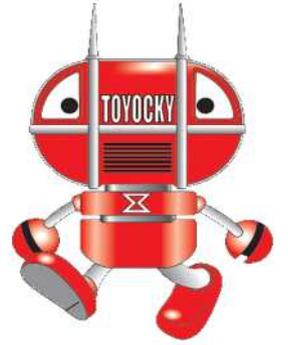
<p>事業の成果等</p>	<p>【手作り楽器】</p> <p>学校の授業で学んだことを活かして、手作り玩具で子育ての楽しさを提供できたらと思い、手作りマラカスを作りました。</p> <p>今回、製作した手作り楽器は生活の中で身近にあるもので作れるものです。マラカスは中身を変えると音が変わって楽しむことができます。紙コップなども一度使用したらすててしまうのではなく、手作り楽器にして再利用することで SDGs にも繋がっていくことを伝えたいという思いを込めてこの成果物(保育教材)をとりいれました。</p> <p>このおもちゃを手作りすること、入れる中身の内容や量によって音が変わる楽しさはすべて大学で学んだことです。</p> <p>また、メンバー全員が音を使った表現活動を行うゼミに所属しています。普段の学びを活かし、音をきっかけに体を動かすこと、曲を知らなくてもリズムを感じて音楽を楽しむこと、音楽を通して季節を感じる…このように保育学生として日々学んでいることを活かして活動を行いました。</p> <p>【保護者の方に向けて】</p> <p>イベント参加者の方のお土産の中に、お子さんへ折り紙のプレゼントをしました。そこに小さな文字で「いつも誰よりも子育てを頑張るお母さんに、いいことがありますように…！」というメッセージを書きました。</p> <p>子育て支援に重きを置いていたので、保護者の方にメッセージを伝えるにはどうしたらいいのか考え、思いついたことです。当日、このメッセージに気づいてとても喜んでくださるお母さん方の笑顔が見られてとても嬉しく思いました。</p>
<p>今後の見通し</p>	<p>イベントを行ってみて、普段実際に子どもや保護者の方の前で披露する機会が少ないため、保育者になる前に大変いい勉強になりました。</p> <p>それと同時に、もっと分かりやすく伝えていく必要があるため、自分の表現の幅を広げたいという自身の課題も見えてきました。</p> <p>そして何より、自分の立ち上げたプロジェクトがこのような形になり、素敵な環境で活動ができたこと、学生のうちにこんなにも貴重な体験ができたことを本当にうれしく思っています。</p> <p>子どもの楽しそうな笑顔はもちろん、保護者の方の笑顔も見ることができ、活動のやりがいを存分に感じることができました。</p> <p>さらに活動の内容や自己をレベルアップしていき、今後も多くの方々の笑顔を引き出すことのできるような活動を行っていきたいと思います。</p>

様子のわかる写真および説明

12月17日 まちなか図書館でのイベントの様子



# トヨッキー基金



©豊橋市トヨッキー



◇みなさまからの寄附と同額を市からも積み立てるので、寄附の効果は2倍になります！

市民協働推進補助金は、トヨッキー基金（市民協働推進基金）から交付されています。



豊橋市 市民協創部 市民協働推進課

〒440-8501

豊橋市今橋町1番地(西館4階)

TEL：0532-51-2483

FAX：0532-56-5128

MAIL：shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp